

マルチメディアキーボード取扱説明書

SKB-CMMUSB



対応機種

各社DOS/Vパソコン、NEC PC98-NXシリーズ
(ただし、USBポートを持ち、パソコンメーカーがUSBポートの動作を保証している機種)

対応OS

Windows Me・2000・98SE・98

最初に
ご確認ください。

セット
内容

マルチメディアキーボード	1台
専用アプリケーションソフト(CD-ROM)	1枚
取扱説明書兼保証書(本書)	1部

ご使用前にこのマニュアルをよくお読み下さい。また、
お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいて下さい。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

2001.07

はじめに

このたびは、マルチメディアキーボードをお買いあげいただき誠にありがとうございます。
本製品は、付属のソフトウェアにより、CD-ROMドライブのコントロールやインターネットへのワンタッチアクセスなど
が行えるマルチメディアキーを装備したキーボードです。(標準キーの配列は、106日本語キーボードに準拠してい
ます。)

本製品をご使用になる前に必ずこのマニュアルをよくお読みください。

本書の内容を許可なく転載することは禁じられています。

本書の内容についてのご質問やお気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。

本書の内容については予告なしに変更することがございます。

本書に記載しているソフトウェアの画面やアイコンなどは実際のものと異なることがあります。

必要なシステム

Windows Me・2000・98SE・98

Pentium プロセッサベース搭載のパソコン

CD-ROM ドライブ (ソフトウェアのインストール・CD とビデオ操作をする場合)

標準のサウンドカード (CD とビデオ操作をする場合)

16MB以上のRAM

10MB以上のハードディスクドライブ空き容量

ACPIに準拠した電源管理システム(ACPIキー)

△ 取り扱い上のご注意

本製品は電気で作動しておりますので、発火する危険があります。万一煙が出たり変なにおいがしたりした場合は、
本製品及び接続しているコンピュータや機器の電源を切り、お買い上げの販売店又は、弊社までご連絡ください。
雷がなっている時に、本製品やケーブルに触れないでください。

落雷により感電する恐れがあります。

本製品のカバーを開けたり、分解したりしないでください。

故障や感電の原因となることがあります。

濡れた手で本製品やケーブルに触らないでください。

本製品がパソコンに接続されている時には、感電する恐れがあります。

本製品内部に液体、金属などの異物が入らないようにしてください。

感電や火災、故障の原因となることがあります。

本製品に強い振動や衝撃を与えないでください。

故障・破損などの原因となることがあります。

本製品を水分や湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、ほこりや湯煙などの多い場所、車中や暖房器具のそばな
どの高温となる場所に設置したり、保管したりしないでください。

故障・感電などの原因となることがあります。

本製品を重ねて設置したり、本製品の上に重いものを置いたりしないでください。

火災や故障の原因となることがあります。

本製品は不安定な場所に設置したり、保管したりしないでください。

落下により故障・破損の原因となることがあります。

本製品や他の機器のケーブルを抜き差しする時には、必ずコネクタ部分を持ち無理な力を加えないでください。

故障・破損などの原因となることがあります。

本製品のケーブルや接続する機器のケーブルは、家具で踏んだり、扉ではさんだりしないでください。またこれらの
ケーブルを引っ張ったり折り曲げたりしないでください。

火災や故障の原因となることがあります。

本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失についての保証はいたしかねます。

定期的なバックアップを取るなどの対策をあらかじめ行ってください。

本製品のお手入れをする場合には、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものは使用しない
でください。

塗装を痛めたり、故障の原因となることがあります。乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。

本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度
な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本
製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。

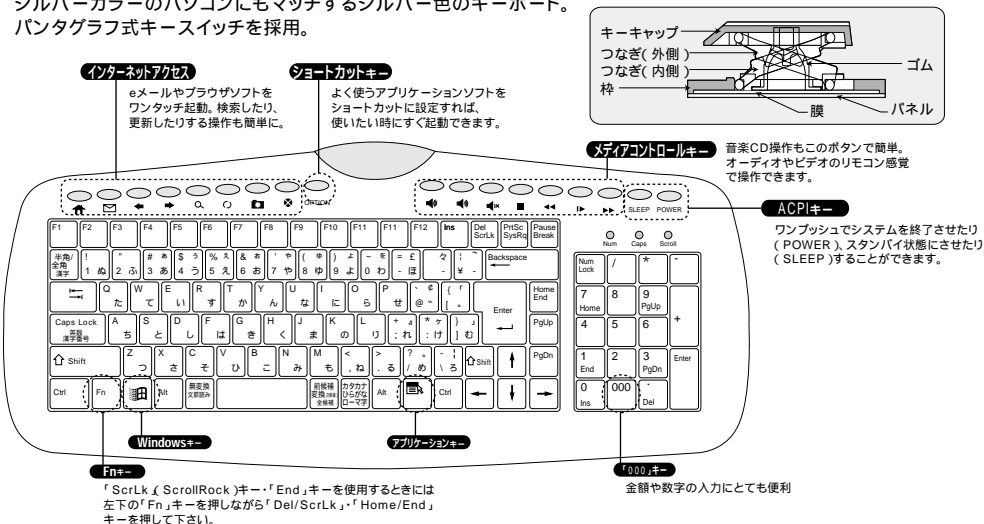
本製品は日本国内用に作られております。日本国外の規格等には準拠しておりません。

快適な使用方法

手首はまっすぐにのびし、指は少し曲げた状態にする。
手はキーボード上で肘に対して少なくとも90°になるようにする。
肩に力を入れたり、肩をすくめたりせず、余分な力を入れない。
15分間タイプする度に、1～2分休憩をとってください。
腕や肘を休めるため、手置き台(ハンドレスト)や肘付椅子の併用をしてください。
画面を見るときは、心持ち目線が下がるように椅子の高さを調節してください。
窓より少なくとも2mは離れて、自然光の入ってくる場所で、画面のコントラストを調節してください。画面にはCRTフィルタを装着することをお奨めします。

特長

USBインターフェースに準拠した日本語キーボード(「106日本語キーボード」に準拠したキーボードです。)
キー数は全部で126(106キー+「Fn」キー併用)+左Windowsキー+アプリケーションキー+マルチメディアファンクションキー)
マルチメディアファンクションキーにはインターネットアクセスキー・メディアコントロールキー・ショートカットキー・ACPIキーの4つの機能を搭載。
1.インターネットアクセス・・・WWW、WWW前の/次のページ、WWW 停止、電子メール、検索など
2.メディアコントロール・・・再生/一時停止、早送り/巻き戻し、停止/取り出し、ボリュームアップ、ボリュームダウンなど
3.ショートカットキー・・・よく使うソフトを登録して1ボタンで起動
4.ACPI(パワーマネジメント)・・・「電源off」と「スリープ」をワンタッチで行えます。
(ACPI機能はACPIに対応したハードウェア、BIOS、OS(Windows Me・2000・98SE)でのみ使用可能です。
また、画面上のソフトキーからは実行できません。)
10キー部分には便利な「000」キーを装備。金額や数字の入力にとっても便利です。
スリム アンド コンパクト
厚さ約18mm、幅約39cmとコンパクト。液晶ディスプレイモニタと併せるとデスク周りを省スペースに使えます。
シルバーカラーのパソコンにもマッチするシルバー色のキーボード。
パタグラフ式キー 스위ッチを採用。



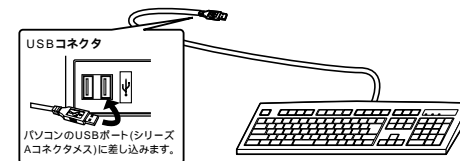
注意

Windowsが起動する前のコマンド(BIOSの設定、SCSIボードの設定など)はできません。
このキーボードを初めて使用するとき、パソコンの機種・BIOSによっては、起動前にPS2マウスがPS2キーボードを本体に直接接続しておく必要があります。
パソコンの機種・BIOSによっては、サスペンドモード(スリープモード、スタンバイモード)後にUSBキーボードを認識しない場合があります。この時は接続しているUSBコネクタをいったん引き抜いてからもう一度接続し直してください。
パソコンの機種・BIOSによっては、ACPIキー(スリープ・パワーオフ)が機能しない場合があります。
Windows98ではACPIキーをサポートしていません。
ノートパソコンや各メーカー純正キーボードのファンクションキーにあらかじめ割り付けられている特殊機能(画面の明度調整やボリュームのアップダウンなど)は、このキーボードからは操作できません。

キーボードのセットアップ

キーボードの接続(インストール)

- 1 パソコンのUSBポートを、確認してください。(多くのパソコンではUSBのアイコンがついています。)
- 2 パソコンの電源が入っている状態(Windowsが完全に起動した後)で、パソコンのUSBポートにキーボードのUSBコネクタを接続します。



注意

初めて接続する時にパソコンの機種・BIOSによっては、Windowsが起動する前にはUSB機器を認識しない場合があります。
そのため、本製品を初めてパソコンに接続して電源を入れた際(コールドプラグ)、キーボードエラーやマウスエラーが発生してWindowsが起動できず、本製品のインストールができないことがあります。また、Windowsが起動しても、本製品のインストール作業中に本製品が作動せず、作業できない場合があります。これらの症状を避けるため、本製品を初めて接続する際はWindows起動後に接続する(ホットプラグ)か、あるいはパソコン本体のPS/2マウスポートにPS/2マウスを接続してからパソコンの電源を入れてください。
なお、一度本製品のセットアップを正常に行った後は、同じUSBポートに接続している限り、このような作業を行う必要はありません。

- 3.「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が現われます。

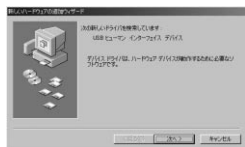
Windows Me・Windows 2000の場合

- 4 必要なドライバは数分で、順次自動的にインストールされます。
「新しいハードウェアの追加ウィザード」が画面から消えた後もしばらく(約1分程度)インストールは続いています。ハードディスクの動作が安定するまで、お待ちください。
- 5 以上でキーボードの接続は終了です。「デバイスマネージャ」でここまでのインストールが正常に行われているか、キーボードが正常に動作するかどうかを確認してください。(ここまでで、マルチメディアキー以外のキーは正常に動作します。)
- 6 この後、本製品付属のCD-ROMから、マルチメディアファンクション用ソフトウェアをインストールしてください。
マルチメディアファンクションキーについては次章を参照してください。

キーボードのセットアップ(つづき)

Windows98 SEの場合

- 4 以下の画面が現れますので「次へ」をクリックしてください。(画面1)
- 5 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」にチェックマークが付いていることを確認して「次へ」をクリックしてください。(画面2)
- 6 どの項目にもチェックマークが付いていないことを確認して、「次へ」をクリックしてください。(画面3)



(画面1)



(画面2)



(画面3)

- 7 ドライバのインストールの準備ができると次の画面になるので「次へ」をクリックしてください。(注1)(画面4)
- 8 インストールが終わると次の画面になるので「完了」をクリックしてください。(画面5)



(画面4)



(画面5)

- 9 この後もう一度「新しいハードウェアの追加ウィザード」が現れますので同じ手順(4.~8)で「USBヒューマンインターフェイスデバイス(注2)」のインストールを行ってください。
- 10 以上でキーボードの接続は終了です。「デバイスマネージャ」でここまでのインストールが正常に行われているか、キーボードが正常に動作するかどうかを確認してください。(ここまでの、マルチメディアキー以外のキーは正常に動作します。)
- 11 この後、本製品付属のCD-ROMから、マルチメディアファンクション用ソフトウェアをインストールしてください。
マルチメディアファンクションキーについては次章を参照してください。

(注1)必要なドライバが見つからなかった場合

本製品はWindows標準のドライバ(Windowsのシステムに含まれているドライバ)を使用します。
画面3から画面4に移行するときに万ドライバが見つからなかった場合は、WindowsのCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、CD-ROM内を検索してください。

(注2)「USBヒューマンインターフェイスデバイス」は繰り返し2度インストールされます。

キーボードのセットアップ(つづき)

Windows98の場合

- 4 以下の画面が現れますので「次へ」をクリックしてください。(画面1)
- 5 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」にチェックマークが付いていることを確認して「次へ」をクリックしてください。(画面2)
- 6 どの項目にもチェックマークが付いていないことを確認して、「次へ」をクリックしてください。(画面3)



(画面1)



(画面2)



(画面3)

- 7 ドライバのインストールの準備ができると次の画面になるので「次へ」をクリックしてください。(注1)(画面4)
- 8 インストールが終わると次の画面になるので「完了」をクリックしてください。(画面5)



(画面4)



(画面5)

- 9 「完了」をクリックすると「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が閉じ、すぐにまた「新しいハードウェアの追加ウィザード」が現れますので同じ手順(4.~8)で「USBヒューマンインターフェイスデバイス(注2)」のインストールを行ってください。
- 10 このインストールが終わると、もう一度「新しいハードウェアの追加ウィザード」が現れますので同じ手順(4.~8)で「USBヒューマンインターフェイスデバイス(注2)」のインストールを行ってください。
- 11 以上でキーボードの接続は終了です。「デバイスマネージャ」でここまでのインストールが正常に行われているか、キーボードが正常に動作するかどうかを確認してください。(ここまでの、マルチメディアキー以外のキーは正常に動作します。)
- 12 この後、本製品付属のCD-ROMから、マルチメディアファンクション用ソフトウェアをインストールしてください。
マルチメディアファンクションキーについては次章を参照してください。

(注1)必要なドライバが見つからなかった場合

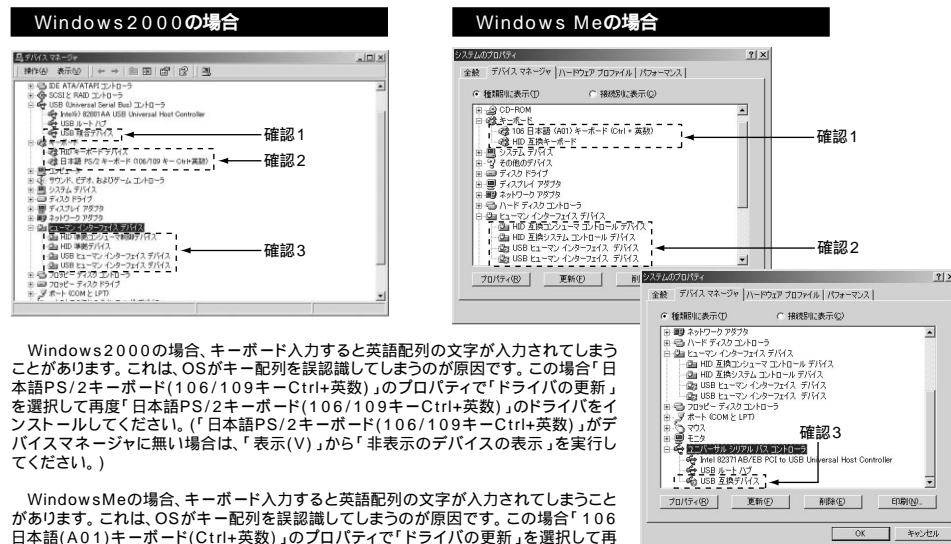
本製品はWindows標準のドライバ(Windowsのシステムに含まれているドライバ)を使用します。画面3から画面4に移行するときに万ドライバが見つからなかった場合は、WindowsのCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、CD-ROM内を検索してください。

(注2)「USBヒューマンインターフェイスデバイス」は繰り返し2度インストールされます。

キーボードのセットアップ(つづき)

キーボードの接続(インストール)の確認

正常にインストールされると「システムのプロパティ」の「デバイスマネージャ」画面で以下のようにインストールされていることが確認できます。

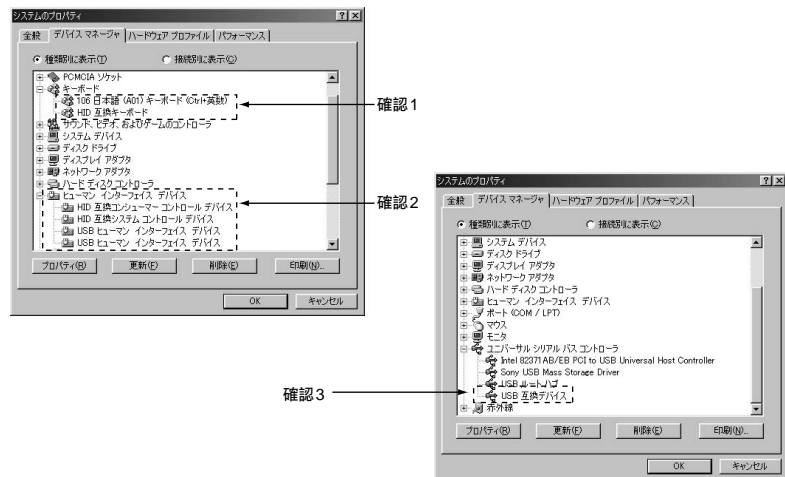


Windows2000の場合、キーボード入力すると英語配列の文字が入力されてしまうことがあります。これは、OSがキー配列を誤認識してしまうのが原因です。この場合「日本語PS/2キーボード(106/109キーCtrl+英数)」のプロパティで「ドライバの更新」を選択して再度「日本語PS/2キーボード(106/109キーCtrl+英数)」のドライバをインストールしてください。(「日本語PS/2キーボード(106/109キーCtrl+英数)」がデバイスマネージャに無い場合は、「表示(V)」から「非表示のデバイスの表示」を実行してください。)

WindowsMeの場合、キーボード入力すると英語配列の文字が入力されてしまうことがあります。これは、OSがキー配列を誤認識してしまうのが原因です。この場合「106日本語(A01)キーボード(Ctrl+英数)」のプロパティで「ドライバの更新」を選択して再度「106日本語(A01)キーボード(Ctrl+英数)」のドライバをインストールしてください。(ドライバが更新されない場合は、一度他(「101キーボード」等)のドライバに更新してから、再度「106日本語(A01)キーボード(Ctrl+英数)」のドライバに更新してください。)

WindowsMeの場合、デバイスマネージャのアイコンに緑色の?マークが付くことがあります。本製品を使用する上では全く問題ありませんので、そのままご使用ください。

Windows 98 SE・Windows 98の場合



キーボードのセットアップ

ソフトウェアのインストール/アンインストール

ソフトウェア(「Compact Multimedia Keyboard Driver」)のインストール

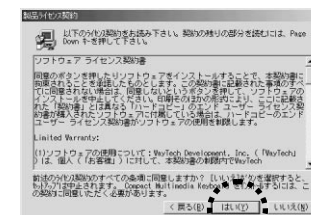
- 1.付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットしてください。
- 2.スタートメニューの「ファイル名を指定して実行」を選んでください。
- 3.名前の欄に「D:*setup.exe(CD-ROMが「D」ドライブの場合)」と入力し、「OK」をクリックしてください。
- 4.以下の画面が現れます。「OK」をクリックしてインストールを開始してください。



- 5.右の画面が現れます。
「次へ」をクリックしてインストールを続けてください。



- 6.製品ライセンス契約画面が現れます。
画面をスクロールさせて契約内容をよくお読みになり、内容にご同意できましたら「はい」をクリックしてください。



- 7.ユーザー情報登録画面が現れます。
名前と会社名を入力して「次へ」をクリックしてください。



- 8.インストール先の選択画面が現れます。「次へ」をクリックしてインストールを続けてください。
(インストールする先を変更する場合「参照」ボタンをクリックして変更を行ってください。)

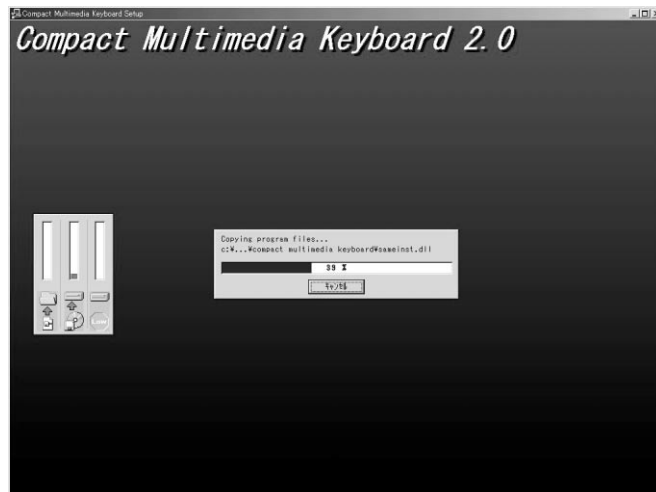


キーボードのセットアップ(つづき)

9. プログラムフォルダの選択の画面が現れます。
「次へ」をクリックしてインストールを続けてください。



10. 必要なファイルのインストールが始まります。



11. インストールが終わると右の画面が現れます。ドライブからCD-ROMを取り出し「完了」をクリックしてください。



12. 再起動後、ソフトウェアが有効となり、画面に「Multimedia Key」の画像(ソフトキー「オンスクリーンCompact Multimedia」)と画面右下のWindowsのタスクバーに「Compact Multimedia Keyboard」のアイコンが現れます。



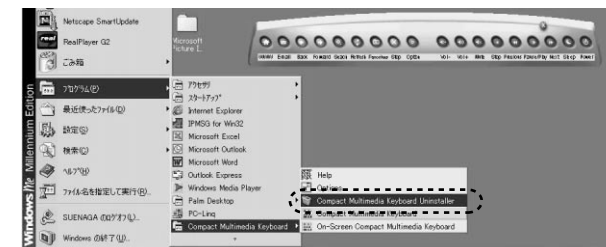
これで、ソフトウェアは正しくインストールされました。

キーボードのセットアップ(つづき)

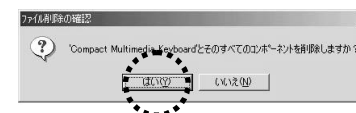
ソフトウェアのアンインストール

ソフトウェアのドライバソフトをアンインストール(削除)する場合、以下の手順で行ってください。

1. スタートメニューの「プログラム」の
「Compact Multimedia Keyboard」の「Compact Multimedia Keyboard Uninstall」を実行してください。



2. 確認画面が現れるので「はい」をクリックしてください。



3. アンインストールが終了すると以下の画面が現れますので「OK」をクリックしてください。
以上でアンインストールは終了します。



使い方と機能について

マルチメディアファンクションキー

マルチメディアファンクションキーは、インターネットアクセスキー・メディアコントロールキー・ショートカットキー(ホットキー)・ACPIキーの4つの機能があります。それぞれのキーは以下のように設定されています。

マルチメディアファンクションキーを使用する前に、ハードウェアとソフトウェアがシステムに正しくインストールされていることを確認してください。

インターネットアクセスキー



	前のページ	インターネットの前のページに戻る
	次のページ	インターネットの次のページにジャンプする
	検索	検索画面を開く
	更新	使用中のWebページをリロードします
	お気に入り	お使いのインターネットブラウザで[お気に入り]ボタンをクリックしたように機能します
	WWW中止	お使いのWebページのダウンロードを停止します
	電子メール	設定している電子メールアプリケーションを起動します
	WWW/ホーム	設定しているインターネットブラウザアプリケーションを起動します

メディアコントロールキー



	前に	CD/VCDの前のトラックに(注1)
	再生/一時停止	このボタンを一度押すとCD/DVDを再生し、もう一度押すと再生を一時停止します(注1)
	次へ	CD/VCDの次のトラックに(注1)
	停止	このボタンを押すとCD/VCDを再生が停止します(注1)
	ボリュームアップ	音量を上げる
	ボリュームダウン	音量を下げる
	ミュート	このボタンを一度押すと音声がおフになり、もう一度押すと音声がおンになります

注1 メディアコントロールキーの中のこれらのキーを使用するにはWindowsの「CDプレーヤー」が「メディアプレーヤー」を起動する必要があります。

使い方と機能について(つづき)

ショートカットキー



	オプション	オプションのダイアログボックスをオープンして、機能を再定義するかショートカットを作成します
--	-------	---


ACPIキー



	SLEEP	システムをスリープ状態にします
	POWERオフ	システムをシャットダウンします

ACPI機能はACPIに対応したハードウェア、BIOS、OS (Windows Me・2000・98SE)でのみ使用可能です。Windows 98ではこの機能は使えません。また、画面上のソフトキーからは実行できません。

ソフトウェアの使用方法

Compact Multimedia Keyboardのソフトウェアインストールが完了すると、アイコンがWindowsタスクバーに表示されます。

画面にはキーボードと同じ18個のマルチメディアキーが表示されます。



ソフトキー(オンスクリーンCompactMultimedia)

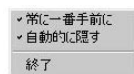
オンスクリーンCompact Multimediaには18個のキーがあり、それぞれの機能はキーボードのキーと同じ機能になっています。

Windowsの制約により、オンスクリーンCompact Multimediaでは使用可能なキーと使用できないキーがあります。マウスのカーソルをオンスクリーンCompact Multimediaの上に移動すると使用可能なキーの上ではカーソルが変形します。カーソルが変形しないキーは使用できません。

オンスクリーンCompact Multimediaは横型・縦型の2種類あり、画面に表示される位置によってどちらかが自動で選択されます。画面の上または下に表示されている時は上のように横型で表示されます。画面の右または左に表示されている時は右のように縦型で表示されます。

オンスクリーンCompact Multimediaメニュー

オンスクリーンCompact Multimediaのどこかをマウスで右クリックすると、次のメニューが表示されます。



常に一番手前に：オンスクリーンCompact Multimedia は常に手前に表示されます。

自動的に隠す：オンスクリーンCompact Multimediaはマウスを少し持ち上げたときに自動的に非表示になります。

終了：オンスクリーンCompact Multimediaを終了しますが、Compact Multimedia Keyboard はアクティブになったままです。

ショートカットの設定

キーボードの「Optionキー」および(オンスクリーンCompact Multimediaの「Optionキー」)にショートカットキー(ホットキー)を設定することができます。 設定内容は同じになります。

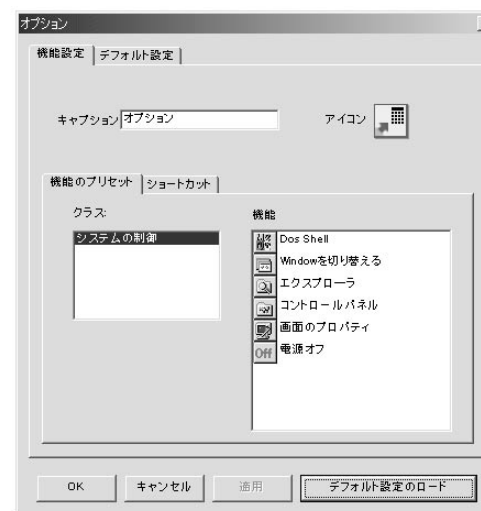
ソフトウェアの使用方法(つづき)

「オプション」ダイアログの起動

ショートカットを設定する前は、キーボードの「Optionキー」が(オンスクリーンCompact Multimediaの「Optionキー」)を実行すると、「オプション」ダイアログボックスが起動します。

一度設定したショートカットを再設定する、もしくは確認する場合は、タスクバーの「Compact Multimedia Keyboard」のアイコンを右クリックして、「オプション」を実行するか、オンスクリーン Compact Multimediaの「Optionキー」をマウスで右クリックしてください。

以下の画面(「オプション」ダイアログボックス)が起動します。



機能設定

現在のショートカットの設定が表示されています。この画面でショートカットの設定を行います。

初期設定では、この「オプションダイアログボックス」が起動するように設定されています。この設定に戻すには、「デフォルト設定のロード」をクリックしてください。

1 あらかじめ用意されている6個の定義済み機能から選択する。

機能のリストの中にある「Dos Shell」「Windowを切り替える」など6つの機能からひとつを選んでそのアイコンをクリックしてください。同時にキャプションやアイコンも切り替わります。

「適用」をクリックして機能を確認し、「OK」をクリックしてください。ダイアログボックスが閉じて設定が有効になります。

2 新しい設定をする。

「ショートカット」タブをクリックしてください。

以下の画面に切り替わります。(この画面はすでに「NotePad」の設定を行った後の画面です。)



ファイル名の欄に実行可能なファイルの名前とパスを入力するか、[参照] ボタンを使用して、ファイルを検索します。

以下の画面でファイルを選択し、「開く」をクリックしてください。



「開く」をクリックすると先ほどのオプションダイアログボックスに戻ります。

ファイル名の欄に選択したファイルの名前とパスとが入力され、キャプション、アイコンが選択したファイルにふさわしいものになっている事を確認してください。必要に応じ、キャプション名を変更してください。

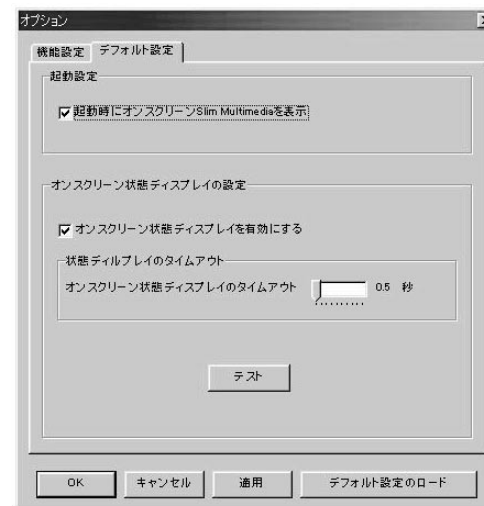
「適用」をクリックして、そのファイルを確認し、「OK」を押してこのダイアログを終了します。

ショートカットは、MS-WordやExcelやPowerPointなどの一般に使用されているアプリケーションを起動するために用いられます。

画面表示の設定

ソフトキー(オンスクリーンCompactMultimedia)とオンスクリーン状態ディスプレイ(OSD)の画面表示の設定が行えます。

オプションダイアログボックスの「デフォルト設定」タブをクリックしてください。以下の画面が表示されます。



起動設定...ソフトキー(オンスクリーンCompactMultimedia)をシステム起動時に起動したい(画面に表示させたい)場合、このボックスをマウスでクリックしチェックマークを付けます。起動したくない場合は、このボックスをもう一度マウスでクリックしてチェックマークを消します。

オンスクリーン状態ディスプレイの設定

オンスクリーン状態ディスプレイ (OSD) は、ホットキーやオンスクリーンCompact Multimediaボタンを押しているときにどの機能が実行されるかを通知します。これは、ホットキーを押しているときにだけ規定されている秒数(0.5秒～5秒)画面の右下に表示されます。


オンスクリーン状態ディスプレイを有効にする...OSDを表示する場合、このボックスをマウスでクリックしチェックマークを付けます。表示したくない場合は、このボックスをもう一度マウスでクリックしてチェックマークを消します。

状態ディスプレイのタイムアウト...初期設定値は 0.5 秒ですが、0.5 秒から 5 秒の間で変更することができます。スライドスイッチをマウスでドラッグして調整してください。

テスト ...表示時間のテストを行います。マウスでクリックすると、画面右下にOSDが表示されます。

画面表示の設定を初期設定に戻すには、「デフォルト設定のロード」をクリックしてください。

ポップアップメニュー

Windowsのタスクバーのアイコン  をマウスで右クリックするとポップアップメニューが表示されます。



オプション：このオプションを選択すると、「オプション」ダイアログボックスが表示されます。この「オプション」ダイアログボックスでショートカットキーの設定を行うことができます。

オンスクリーンCompact Multimedia Keyboard：選択すると、オンスクリーンCompact Multimediaを表示します。

ヘルプ：選択するとオンラインのヘルプファイルにアクセスすることができます。

バージョン情報：選択するとCompact Multimedia keyboardのソフトウェアに関する情報を表示します。

Compact Multimedia Keyboardの終了：選択するとCompact Multimedia Keyboardソフトウェアを終了します。

終了後はキーボードのマルチメディアファンクションキーは動作しません。